

まちづくりNEWS

旭川市総合計画市民検討会議

第3分科会 vol.1

平成26年6月30日

(発行元)

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

旭川市1条通8丁目 フィール旭川7階

TEL/FAX 26-0338

(委託者)

旭川市総合政策部総合計画課

旭川市総合計画市民検討会 第3分科会の第1回会議が行われました！！

6月4日（水）に旭川市総合計画市民検討会第3分科会の第1回会議が開催されました。

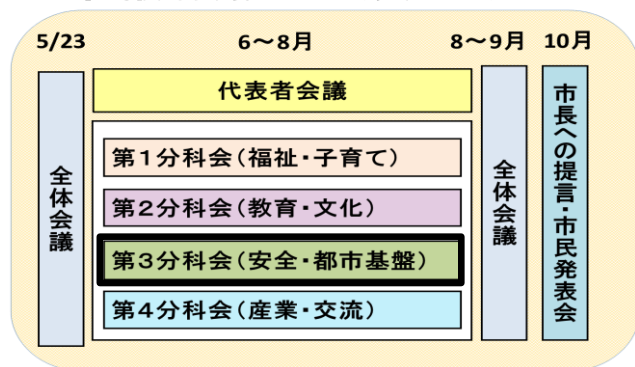
この第3分科会では平成28年度以降の新たな総合計画の策定に向けた検討を行うため、これからの旭川市の「安全・都市基盤」について議論を行っています。

今回の会議では、団体推薦委員と公募委員合わせて5名の方々による意見発表を行い、それに関する課題整理や意見交換など行いました。

以下に5名の委員による意見の要旨を記載します。



市民検討会議の主なスケジュール



委員意見要旨①



○旭山動物園の景観問題に関して

旭山動物園が人気になるにつれて来場者は増えたが、それに伴い民間の駐車場が多くでき、旭山動物園周辺の景観悪化や環境破壊につながる。そのため大型駐車場を動物園から遠いところに設置し、そこからシャトルバスで動物園と駐車場を結ぶのはどうか。

○中心市街地の空洞化に関して

中心市街地が空洞化しており、対策はしているが車社会が浸透し、人口流出が進んでいるため再生は難しい。市民が街中に住むことが市街地の再生に大きくつながる。

委員意見要旨②

○都市のダウンサイジングに関して

人口減少を前提として公共インフラをすべて更新するのは現実的ではないため、旭川市のダウンサイジングを行い、守るべきものを選択し、資源を集中投入すべきという検討を行ったらどうか。

○道北圏の防災センターに関して

旭川は災害（地震）が少ない分、逆に地震が起きたときに災害に慣れていないため、災害を想定して体制整備と意識向上を目指すのが大切ではないか。旭川市に限らず、周辺市町村や道北の防災も「自分事」として意識し、考えていくことが大切である。

○建築業の健全経営の側面支援に関して

建設業は旭川の産業で旭川の産業を支えるものであるため、公平性・透明性の確保の上、さらに建設業の「公」的な側面を重視するとよいのではないか。

第3分科会(安全・都市基盤)の主なテーマ

- 防災
- 消防・救急
- 交通安全・防犯
- 環境・リサイクル
- エネルギー
- 都市基盤整備
- 交通
- 住環境
- 雪対策

委員意見要旨③

○交通体系の構築に関して

マイカーが主流となり、住居が街の中心地から周辺地に移行し、周辺地の発展が進んでいる。したがって周辺の人たちが住みやすい街づくりを目指すべきではないか。また、駅を中心とした公共交通機関になっているため、それを改善していかななくてはならない。そのため、市役所の職員と課題を共有することによって旭川の発展につなげていくことが大切になってくる。ダウンサイジングではなく、周辺地域こそ発展させていくべきである。



委員意見要旨④

○旭川市の安全における課題に関して

- ・高齢者、子どもたちの悪質商法被害の対策。
- ・孤独死の予防。近隣住民からの見守りが大切になってくる。
- ・災害時の最寄りの避難所までの避難経路の長さの問題について対策が必要である。
- ・自転車増加に伴う交通整備が必要ではないか。
- ・高校生等の暴走自転車などの対策が必要。
- ・雪によって道路、歩道が狭くなり、通学通勤が大変である。
また、公共交通機関の遅延問題も発生しており、雪害に対する対策も必要ではないか。
- ・家庭ごみ排出のマナーの向上が必要。

委員意見要旨⑤

○誰でも安心して住めるまちづくりに関して…

- ・防災…旭川市や民間企業間の防災協定が必要なのではないか。
- ・豪雪…除排雪費用の問題。旭川は1年毎で委託企業を変えているが、1年交代ではなく、何年か分を見越した上、地域の企業を活用して、重機を提供したりするなどの対策をすることで、財政の軽減につながるのではないか。
- ・都市基盤…人口減少に伴ってなかなか財政が厳しいものとなっていくことから、都市部に集中させるべきとまではいかないが、高齢者は都市部に居住を変えてもらうなどの対策の必要があるのではないか。
- ・建設物の老朽化…倒壊する可能性がある建築物を記載したハザードマップの作成の必要性がある。
- ・交通マナー…都市部の自転車走行帯があるが、夏は自転車走行帯、冬は除排雪の雪置場としての利用。
学校での自転車マナーの教育の必要性。



出された課題や意見

- 中心市街地の駐車場の問題
- シャトルバス等の活用
- 急速な人口減少とコンパクトシティ
- 維持管理時代を迎えるインフラ・ストック
- 地震に不慣れなまち
- 駅を中心とした放射状の公共交通体系
- 周辺地域を住みやすいまちに
- 地域による高齢者の見守り
- 他都市に比べ除排雪はよいが効率的運用の検討
- 災害時に市と企業が助け合えるように



今後の予定

第3分科会は、全4回実施する予定です。